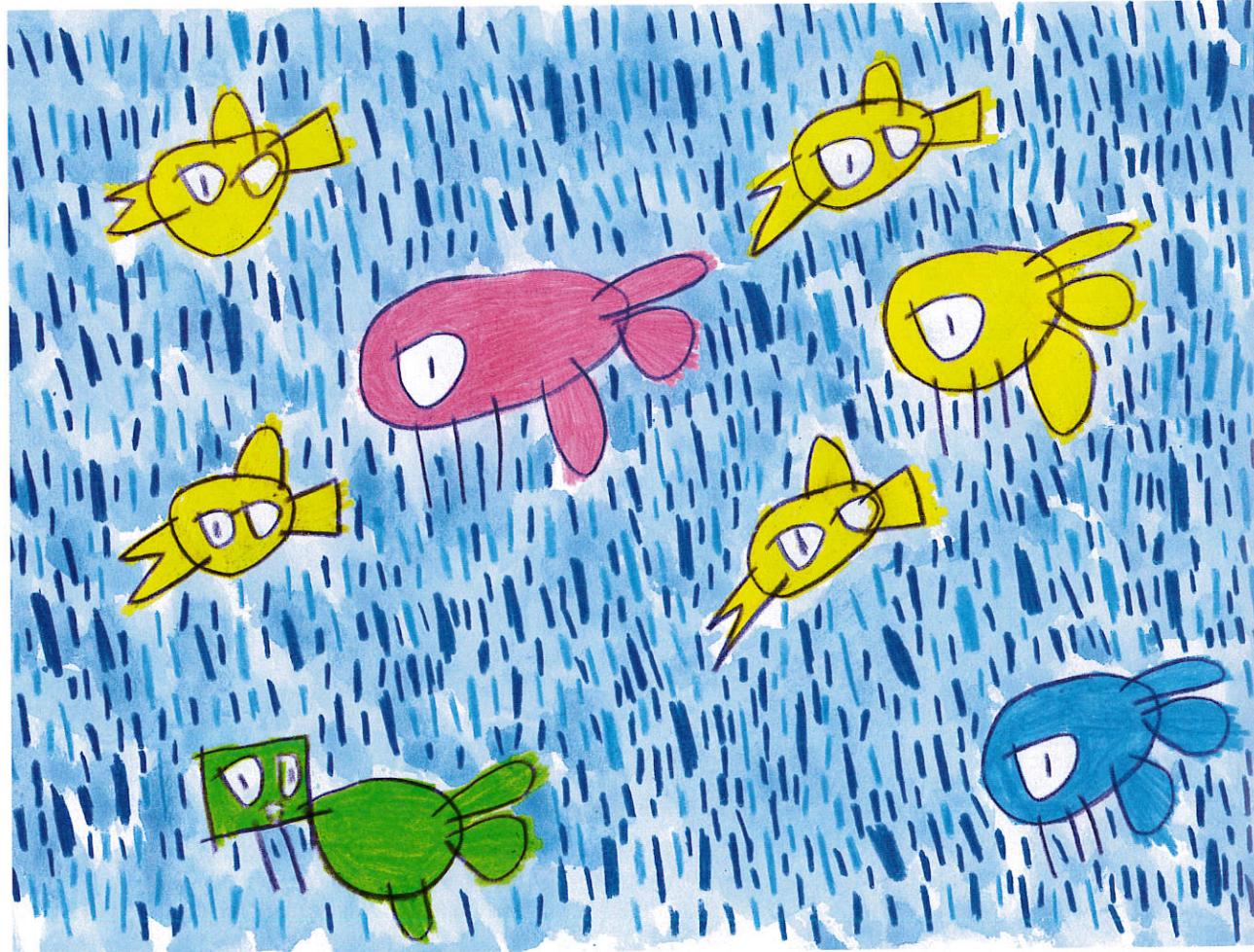


手をつなぐ

特集

分かってほしい、このサイン

2016
7月
[No.725]



今月の問題 熊本地震、避難の困難さと変わる支援ニーズ

ひびき 茂木綾子 (写真家・映像作家)

アメリカ・アルバマーレGHAの実践から 落書きしてもよい環境を整える

●大阪・
北摂杉の子会
松上利男

見えない障害への配慮とは

2016（平成28）年4月、「障害者差別解消法」の施行によって、障害の特性に応じた「合理的配慮」の提供が行政・事業者に義務化されました。

「合理的配慮」とは、「障害の特性を理解した上で、一人ひとりの困りごとに合わせた支援と環境の提供」のことです。しかし、自閉症スペクトラム障害のある人に対する合理的配慮についての理解が進まず、その結果として、二次障害である行動障害を誘発させているという現実があります。

その最大の要因は、「自閉症スペクトラム障害」「脳の機能障害」「見えない障害」であることから、具体的にどのような「合理的配慮が必要か？」が、分かり

にくいことがあります。

自閉症スペクトラム障害のある人は、「自分たちを取り巻く環境の意味理解の困難さ、特に見えないものを理解するとの困難さ」があります。

社会の中には、様々な見えないものがあります。例えば、「言葉」「ルール」「他人の心」「時間（未来）」「他人との関係」等々ですが、自閉症スペクトラム障害のある人への合理的配慮の一つとして、「見えないものを『見える化』する」という支援があります。この「見える化」を「構造化」と言っています。

また、自閉症スペクトラム障害の人は、感覚の刺激に敏感であったりしますので、たとえば大きな音が苦手な人に対しては、音を遮断するような環境を提供することが合理的配慮となります。が、「構

造化」も含めて、そのような配慮を「環境調整」と言います。

今回、自閉症スペクトラム障害の障害特性に配慮した支援と環境を提供し、グループホームを中心地域での暮らしの支援を提供しているアメリカ・ノースカラolina州アルバマーレにある「GHA (Group Homes for the Autistic)*」の実践を紹介します。

GHAの実践に学ぶ

「GHA」は、自閉症スペクトラム障害の子どもをもつ親が中心となって組織した非営利組織で、1978年に設立されました。

「自閉症に対する理解がなされ、価値ある個人として、自立して成長し、地域に貢献できる環境を創造する」という理

念を掲げ、居住、就労、教育、居宅サービスを提供しています。

居住支援では、入所施設での支援が困難であった重い知的障害と強度行動障害をともなう自閉症スペクトラム障害のある人たちをグループホームで支援しています。

GHAの支援では、「個別評価にもとづいた環境調整」と「本人にとっての暮らしやすい環境の提供」を重視していますが、スタッフの「利用者の示すすべての行動的な課題は、環境によって改善できる」との自信に満ちた言葉からそのことが実感できます。

たとえば、「あらゆる所に落書きする」という行動的な課題のある利用者に対して、その利用者の居室の壁に黒板を使う塗料を塗り、チョークを渡します。

そして、「自分の部屋には落書きをしてもよいです」と、落書きしてよい場所を明確にしました。「その後、自室以外での落書きはしなくなった」との実践例を聞きました（写真）。



(左)壁に黒板の塗料を塗った部屋。(右)手洗いの手順を示すイラスト

*1 GHAの実践については、北摂杉の子会のホームページから「強度行動障害を持つ自閉症者の地域移行を考えるGHC」及び入所施設の機能の在り方に関する先進事例研究」をご覧ください。（<http://www.suginkokai.com/>）

*2 On-the-Job Training オンザジョブトレーニング 理解にもとづいた環境調整（合理的配慮）が進むことを願っています。

終わりに

成講座、大学院教育との連携など、適切な支援の提供に向けた実践が行われています。

このような環境調整による支援のアプリーチとともに、人材育成についても組織的に行われています。特に、OJT*2を支えるスーパーヴィジョンの仕組みと、それを支えるスーパーヴァイザー養成講座、大学院教育との連携など、適切な支援の提供に向けた実践が行われています。

私どもの法人では、多くの重い知的障害・強度行動障害をともなう自閉症スペクトラム障害の人たちを支援しています。GHAの視察を通して、その実践に学び、2012年4月に、強度行動障害のある利用者を中心としたグループホーム「レジデンスなさはら」を開設しました。

利用者のアセスメントにもとづき、それぞれの障害特性に配慮した住環境の提供に努めた結果、すべての利用者の行動障害について改善が見られました。この取り組みから見ても、合理的配慮としての環境調整の支援的重要性について、ご理解いただけると思います。

今後も自閉症スペクトラム障害の特性理解にもとづいた環境調整（合理的配慮）が進むことを願っています。